

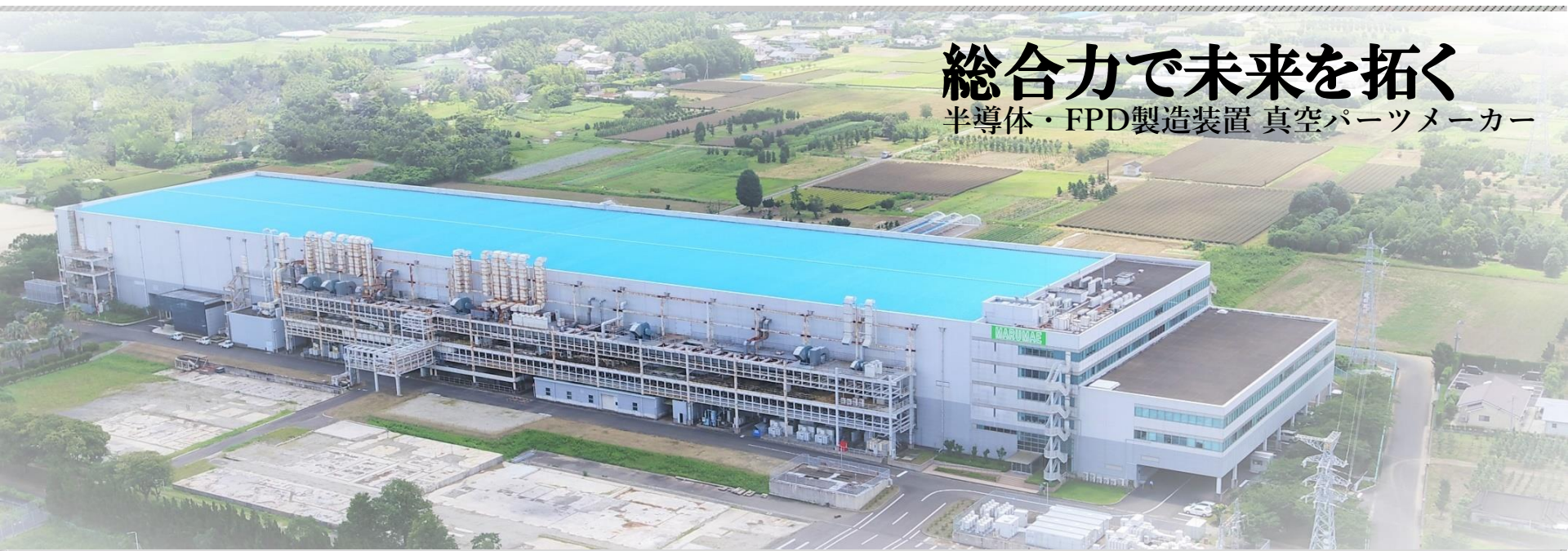
東証(TSE):6264

# 株式会社マルマエ

2023年8月期決算 補足資料及び中期事業計画修正資料

2023年10月6日

**総合力で未来を拓く**  
半導体・FPD製造装置 真空パーツメーカー



# 1. 決算概要

## PL分析

PL

	2022年8月期 累計期間		2023年8月期 累計期間		対前年同期 増減率 (%)
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	
受注高	9,190	—	5,167	—	△43.8
受注残高	2,616	—	1,101	—	△57.9
売上高	8,585	100.0	6,868	100.0	△20.0
売上原価	5,426	63.2	5,284	76.9	△2.6
売上総利益	3,158	36.8	1,583	23.1	△49.9
販売管理費	796	9.3	723	10.5	△9.1
営業利益	2,361	27.5	859	12.5	△63.6
経常利益	2,366	27.6	789	11.5	△66.7
特別損益	66	0.8	208	3.0	215.4
当期純利益	1,817	21.2	706	10.3	△61.1
EPS (円)	142.58	—	55.92	—	△60.8

Point

### ①受注状況

- 半導体分野：3,346百万円  
(対前年同期：52.4%減)
- F P D分野：761百万円  
(対前年同期：47.9%減)
- その他分野：1,059百万円  
(対前年同期：51.3%増)

### ②売上高

- 対前年同期20.0%の減少  
(分野別の詳細は次頁)

### ③売上原価

- 外注加工費：451百万円減少  
(対前年同期：34.6%減)
- 減価償却費：217百万円増加  
(対前年同期：30.6%増)

### ④販売管理費

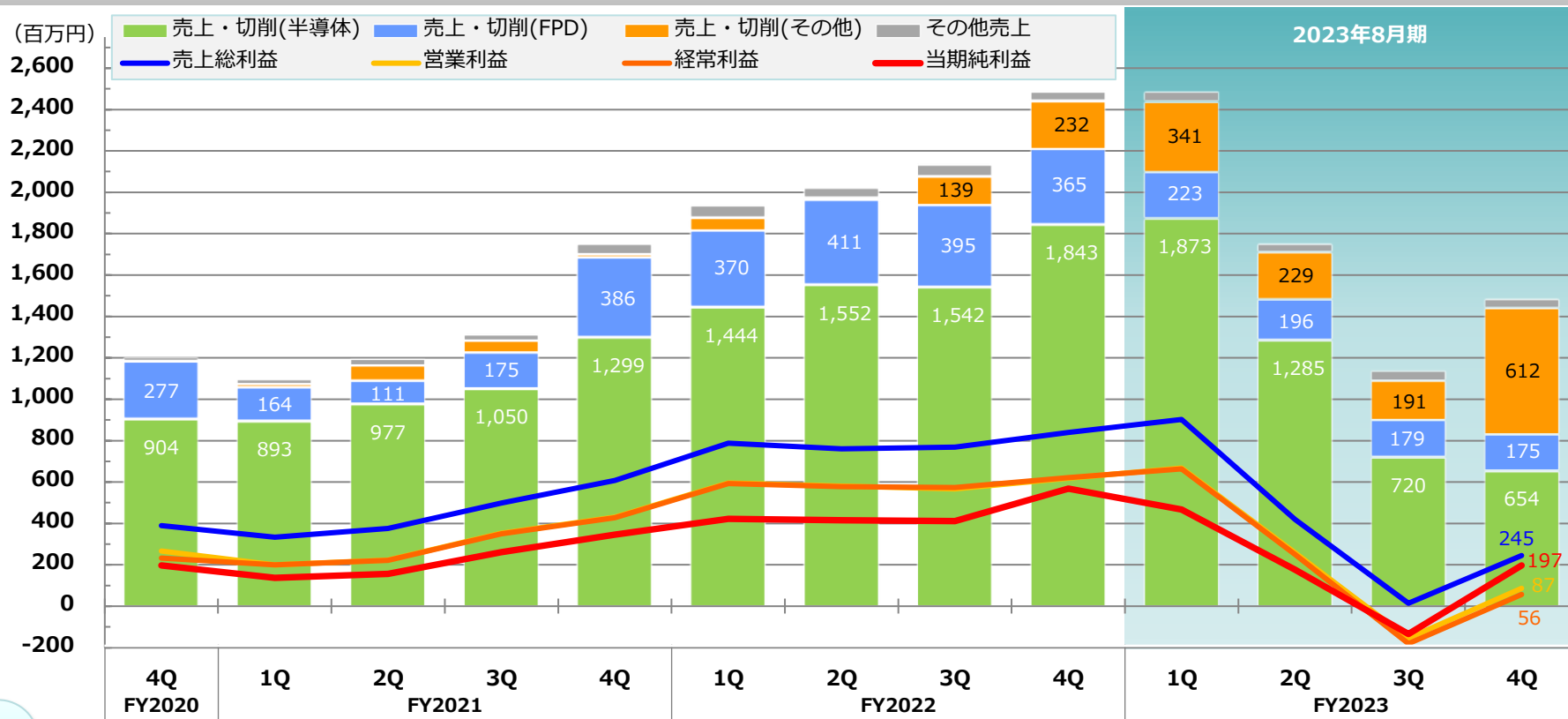
- 研究開発費：52百万円減少  
(対前年同期：38.4%減)
- 租税公課：14百万円減少  
(対前年同期：26.3%減)

### ⑤特別利益

- 補助金収入：211百万円

# 1. 決算概要

## 四半期業績の推移



Point

### ①売上高は、半導体分野の停滞継続

- 半導体分野：4,534百万円（対前年同期：29.0%減）
  - ・市場環境停滞の影響で底這い
- FPD分野：774百万円（対前年同期：49.8%減）
  - ・市場停滞による売上停滞が継続

■その他分野：1,374百万円（対前年同期：208.7%増）

- ・太陽電池製造装置部品は急拡大

### ②損益面は売上減少と稼働率低下の影響等で減益

- ・前期末と比べ期末受注損失引当金等の増加は137百万円  
3Q増加分の影響残るも、4Qは2百万円程度にとどまる

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、Pointのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

# 1. 決算概要

## B/S分析

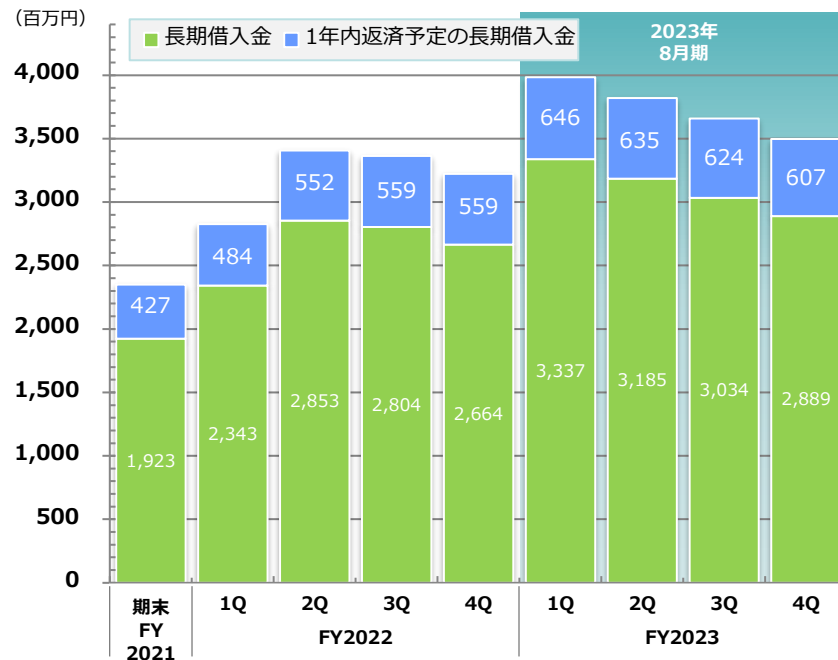
B/S

	2022年8月期 会計年度末 (百万円)	2023年8月期 会計年度末 (百万円)
流動資産	6,591	5,448
現金及び預金	3,011	3,496
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	2,493	982
棚卸資産	1,062	813
固定資産	5,961	6,163
建物・土地	2,517	2,537
機械及び装置	2,971	3,271
流動負債	2,504	1,165
有利子負債(短期)※	559	607
固定負債	2,749	2,973
長期借入金	2,664	2,889
負債合計	5,253	4,138
純資産合計	7,299	7,473
総資産	12,552	11,612

※ 有利子負債(短期)：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

Point

- ① 資産：11,612百万円(前期末比:940百万円減少)
  - ・売上債権：1,510百万円減少
  - ・機械及び装置：299百万円増加
- ② 負債：4,138百万円(前期末比:1,115百万円減少)
  - ・未払法人税等：527百万円減少
  - ・未払金：302百万円減少
- ③ 純資産：7,473百万円(前期末比:174万円増加)
  - ・利益剰余金：150百万円増加
  - ・自己株式の処分等により23百万円増加
  - ・自己資本比率：58.1%→64.4%



## 2. 事業環境

### 今後の販売分野別の環境と方針等

#### 半導体分野

- ◆ 市場環境は北米向け延期などで低迷。DRAMに計画出始める
- ◆ 製造装置向け在庫調整は目途付くも、消耗品在庫解消が不透明
- ◆ 新旧顧客で試作品受注増加（開発品および転注評価用）

#### FPD分野

- ◆ OLED G6・G8向けの投資計画増加
- ◆ OLED G8設備投資は2024年以降も継続見通し
- ◆ EBW活かしたシェア拡大戦略継続

#### その他分野

- ◆ 太陽電池向け活発 FPD分野売上超過も不安定
- ◆ 加工協力企業確保と、組立の一部内製化で売上拡大方針
- ◆ FPDと合わせた大型部品生産能力を月産3億円まで拡大



# 3. 2024年8月期の業績予想

## 来期の見通し（損益・設備投資・固定費要因）

業績  
予想

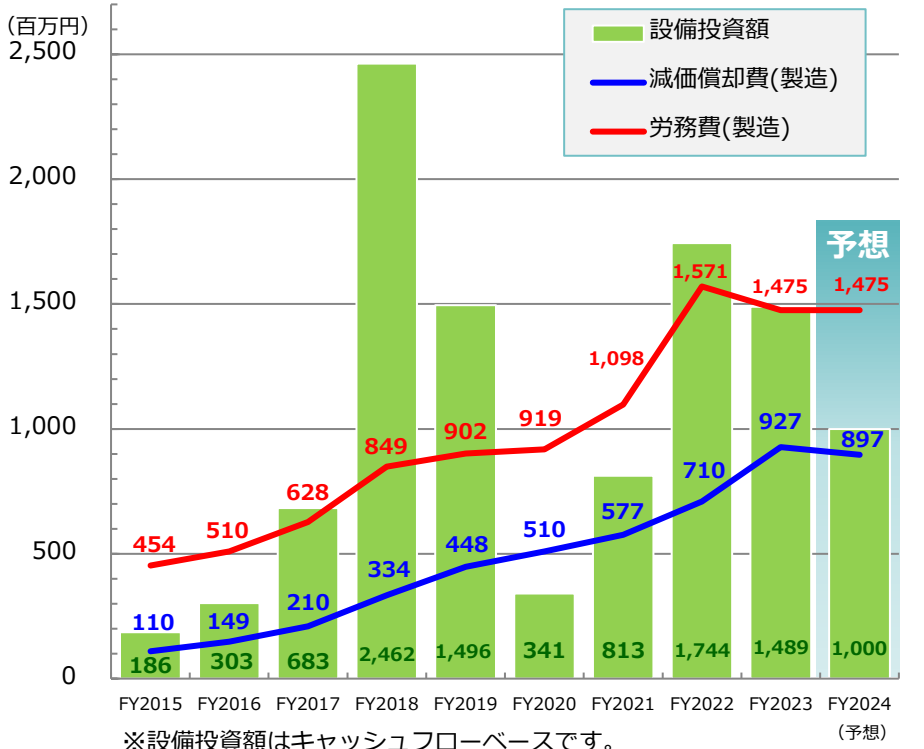
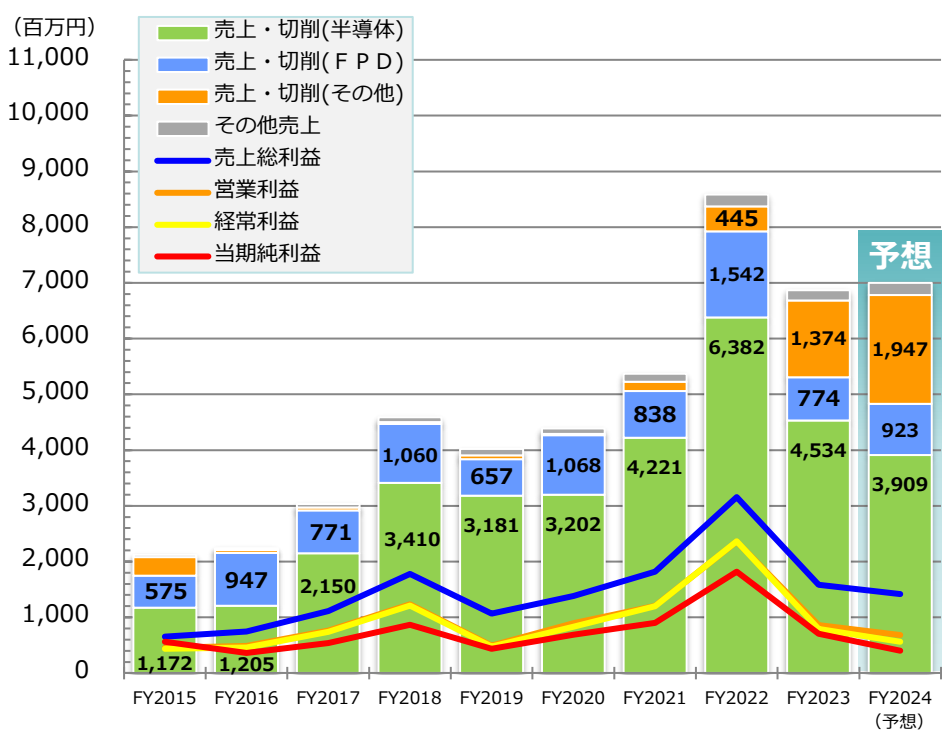
2024年8月期 業績予想	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	純利益 (百万円)	1株当たり 純利益(円)
第2四半期(累計)	2,400	△82	△160	△113	△8.94
通期	7,000	680	562	400	31.64

上期は半導体市況改善見込まず。特に1Qは減速感深まりPVも谷間。

Point

- ✓ 半導体中心に市場停滞長期化
- ✓ 太陽電池製造装置向け受注継続も不安定
- ✓ 半導体新顧客から量産未受注もPOR※1数増加
- ✓ 増産投資先送、開発とES※2向上優先

※1 POR：製造プロセスの認証 ※2 ES：社員満足度



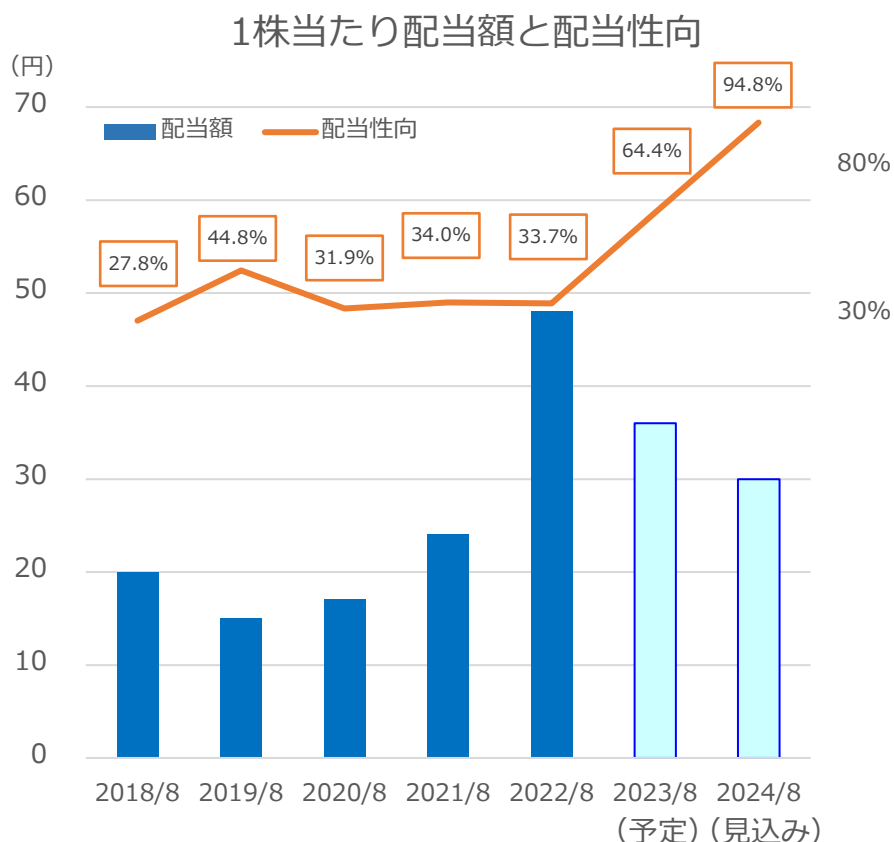
※設備投資額はキャッシュフローベースです。

# 3. 2024年8月期の業績予想

## 株主還元

### 配当等

### 実績と予定



#### 配当政策

- ✓ 新中期事業計画で35%以上の配当性向を予定
- ✓ 最低配当額を年20円(半期10円)の安定配当化

#### 株主優待

- ✓ 半年以上継続保有の株主様へ1,000円分のオリジナルQuoカード提供

#### 当期配当

- ✓ 2023年8月期は上期18円実績、期末18円の合計36円/株の配当予定
- ✓ 2024年8月期は上期10円、期末20円の合計30円/株の配当見込み
- ✓ 事業環境厳しいが、下期の改善と資本効率の向上および安定配当を考慮し配当額を決定

## 4. 中期事業計画

### 当初計画

# 中期事業計画 Innovation2025

数値目標

売上高140億円 営業益42億円

ROIC

資産ベースROIC 23%  
負債ベースROIC 19%

配当性向

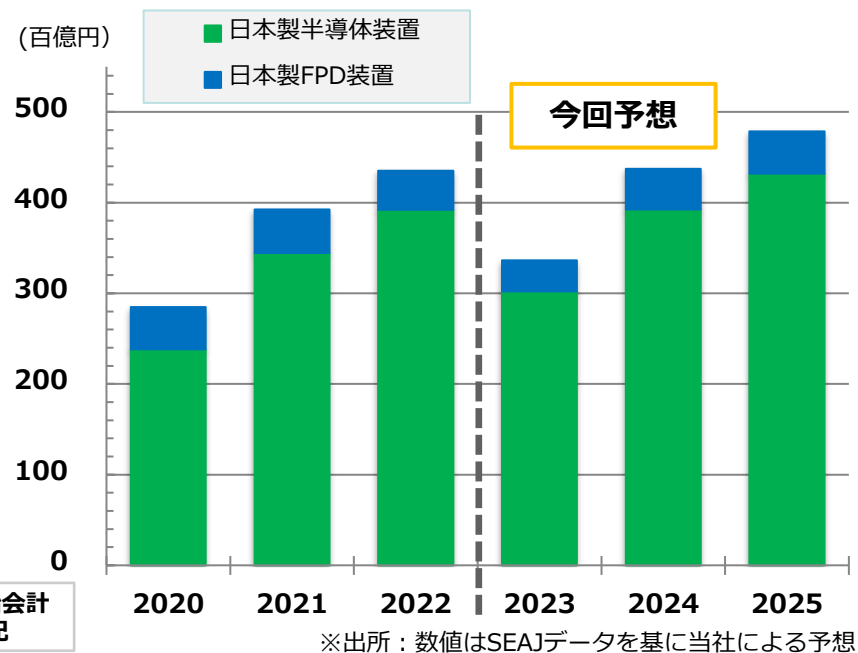
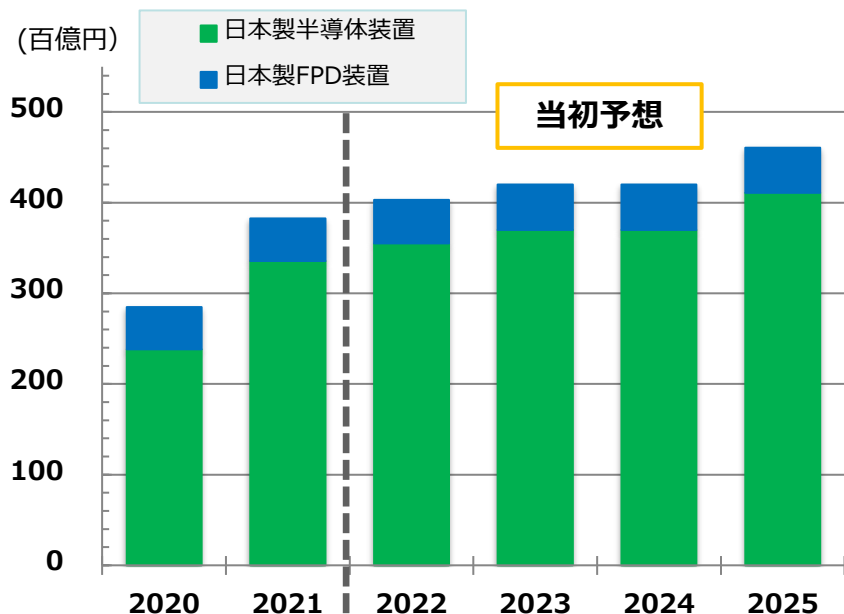
配当性向 35%以上目標  
最低配当額 年間 20円※

※ただし最終損益が赤字となる場合は見直しを行う



# 4. 中期事業計画

## 計画見直し



- ✓ 当初の市場予測に対して、2023年に想定外の厳しい市場停滞が発生
- ✓ 停滞に伴い当社の設備投資計画も先送りし、人材採用も抑制した
- ✓ 市場は再成長すると想定しているが、現計画の2025年8月期までに売上高140億円を達成するには設備投資と人材育成が間に合わない見通し
- ✓ 計画期間を延長し、**2026年8月期を本中計の最終年度に変更**。目標値は維持  
2023年10月6日の取締役会において、中期事業計画の修正を決議

## 4. 中期事業計画

### 定量的目標

利益計画は維持、ROIC目標は若干低下(年度の延長により固定資産等増加)

# 中期事業計画 Innovation2026

数値目標

売上高140億円 営業益42億円

ROIC

資産ベースROIC 21%  
負債ベースROIC 18%

配当性向

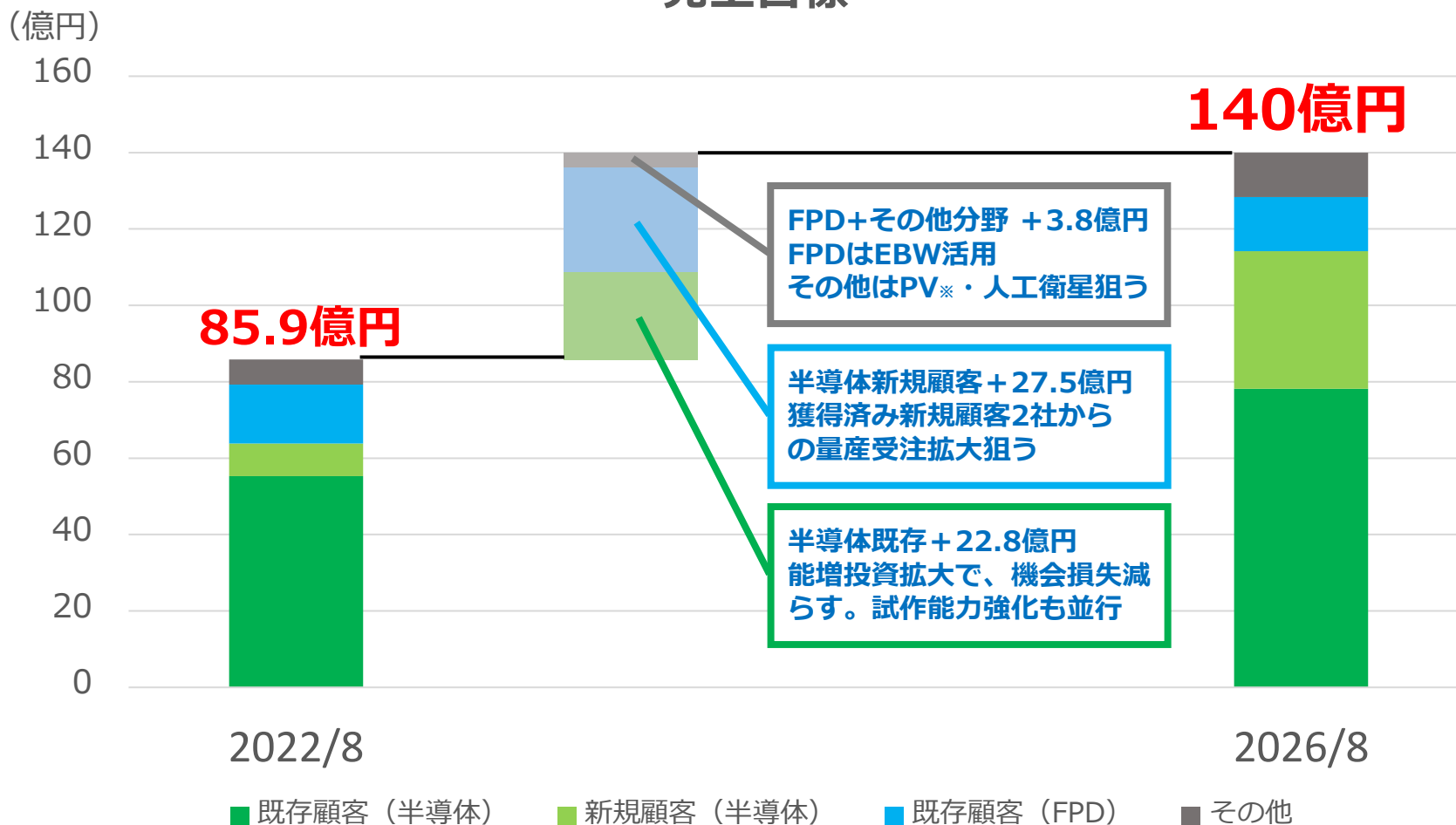
配当性向 35%以上目標  
最低配当額 年間 20円※

※ただし最終損益が赤字となる場合は見直しを行う

# 4. 中期事業計画

## 数値目標

### 売上目標



市場の成長に加え、既存顧客へのシェア拡大と新規顧客からの受注拡大による成長見込む

※…Photovoltaic (光起発電) の略。太陽光発電のことを指す

## 4. 中期事業計画

### 出水事業所（本社）設備投資

SPE市場の現見通しから  
本社敷地内へ新工場の  
建設を検討中  
2025年8月完成計画



## 4. 中期事業計画

### 目標達成への戦略

#### 生産能力

#### 生産能力計画

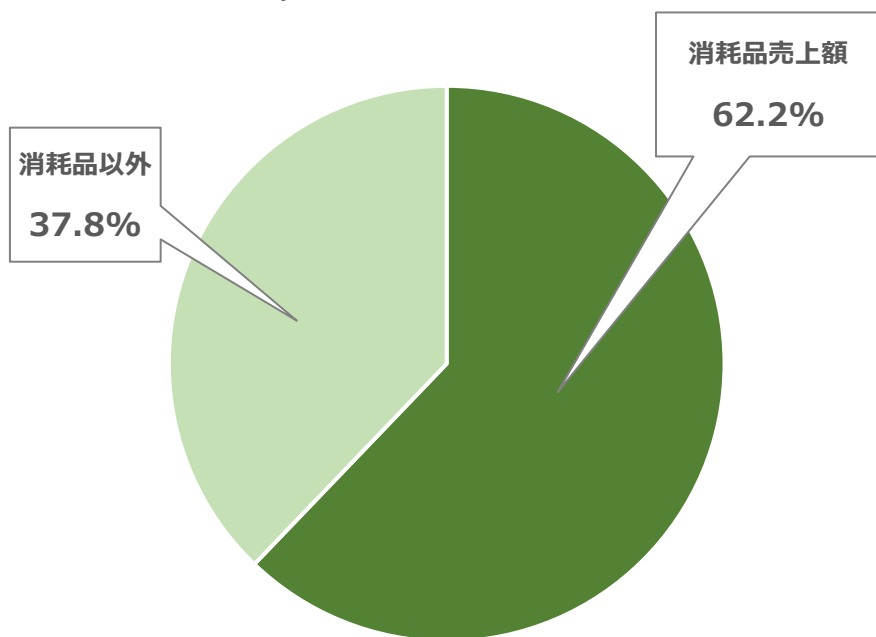
年度	2024/8	2025/8	2026/8
設備投資額（予想） CFベース	10億円	24億円	18億円
減価償却（現見込） （製造原価）	8.97億円	約10.4億円	約11.8億円
製造能力（月産） 期末時点予想	半導体 8 億円 FPD等 3 億円	半導体 9 億円 FPD等 3 億円	半導体 11 億円 FPD等 3 億円

- ✓ 生産能力は個別の機械能力を単純合算した数値。能力拡大に合わせ人材確保育成も必要
- ✓ 2024年8月期は開発向け投資とES向上に向けた社員食堂への投資等も含む
- ✓ 2025年8月期と2026年8月期には新工場建設費用等約15億円も含む
- ✓ 本投資額にはカーボンニュートラルに向けた太陽光パネルや蓄電池向けの投資も含む

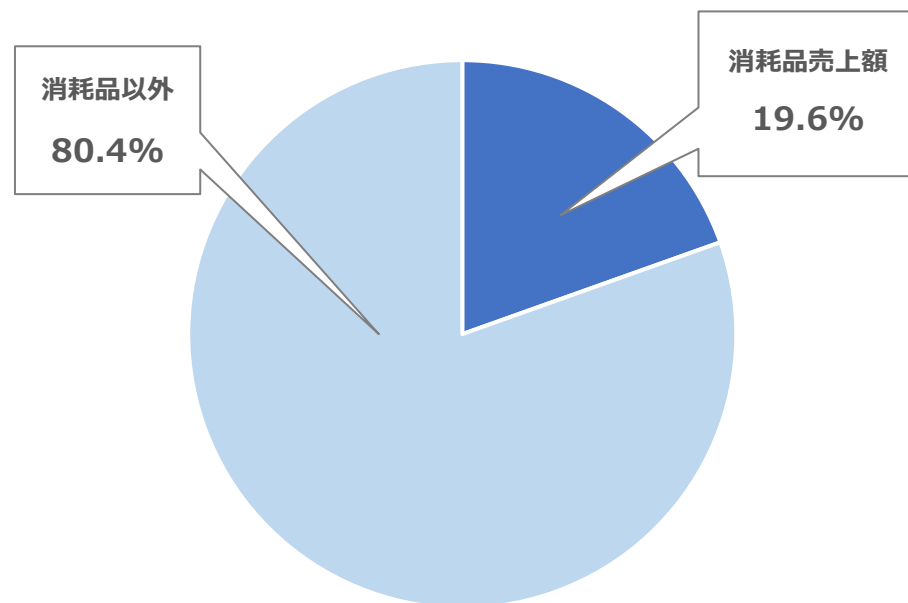
## 4. 中期事業計画

### 戦略 ～消耗品受注の拡大～

2023/8期 半導体分野



2023/8期 FPD分野



安定化戦略

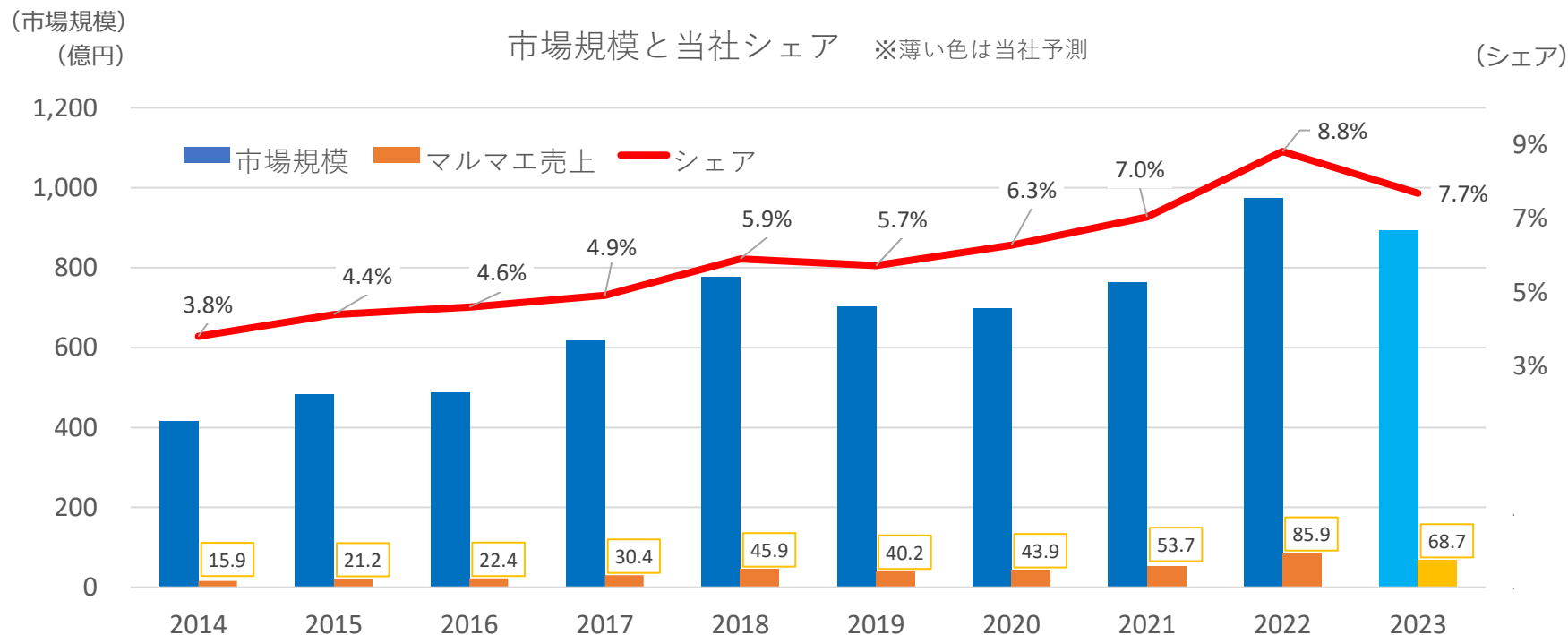
## 消耗品強化で受注安定化狙う

※ 当期は、消耗品の在庫滞留で、半導体分野消耗品比率低下



# 4. 中期事業計画

## 当社の属する市場とシェア推移



### 成長性

- ✓ 当社の属する市場は、半導体、FPD共に2022年は好調に推移したが、2023年に入り急減速した
- ✓ 同業各社の中で、決算期が3月の企業に対し8月決算の当社は景気減速の影響を多く受け、当年のシェアは縮小

- ・本項の市場規模データは、当社と類似した半導体とFPD製造装置の真空パーツを生産する企業で、当社が認識する一部（当社含30社）の企業について、各暦年に属する決算期末ごとの売上高を調査機関の情報を基に集計したものです。
- ・2023のデータにおいて、決算月の違いから現時点でデータ未開示の会社については、各社の事業環境をもとにした当社予測値が含まれます。

# 5. サステナビリティ経営 Sustainable Management

## 気候変動への対応

# ESG

## カーボンニュートラルへのロードマップ

カーボンニュートラルの実現に向けた  
気候変動への取り組み



# 5. サステナビリティ経営 Sustainable Management

## 気候変動への対応



- ✓ 全事業所に太陽電池設置
- ✓ GHG15.5%削減  
(2023年8月期実績)
- ✓ 2030年までに50%削減

**再生可能エネルギーの  
自社生産自社消費方針**

# 5. サステナビリティ経営 Sustainable Management

## 人材関連他

ESG

### 人材育成、働き方改善、地域への貢献

取組

#### プログラマー育成PJ本格化

- ・人材育成カリキュラムの作成と実行
- ・プログラマー認定レベル制度の確立

#### 誰もが働きやすい職場環境の整備

- ・ESG委員主導による働きやすさの改善活動実行(女性会議等)
- ・男性育休取得率**100%**(2023年8月期)実現

#### ネーミングライツ取得 (地域内知名度向上)

- ・マルマエスタジアム出水(出水市総合運動公園陸上競技場)追加  
(既存含め合計4か所)

今後

#### 人材育成や食堂設置

- ・プログラマー人材の早期育成の推進
- ・従業員の健康維持及び増進を目的とした社員食堂設置予定

# 5. サステナビリティ経営 Sustainable Management

## ガバナンス

ESG

セキュリティ、多様性推進、リスク管理

取組

### 情報セキュリティ委員会設置

- ・情報セキュリティ基本方針及び管理規程策定
- ・情報セキュリティ教育の実施

### 女性役員比率上昇【12.5% ➔ 22%】（2/9名）

- ・多様性を持つ社外取締役増員で監督型取締役会の強化
- ・サステナビリティ経営の積極化

今後

### リスクマネジメント

- ・全社的リスク管理の推進

### ISO認証取得

- ・ISO/IEC 27001※を2024年8月までに取得予定

※情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)に関する国際規格



# 5. サステナビリティ経営 Sustainable Management

## 人的資本

### ■ マルマエの強みを支える技術力は人の能力の集合



- ✓ 労働環境や人事評価制度の改善にくわえ、多様性配慮で定着率向上を図る
- ✓ 採用強化とイノベーションを生み出す開発人材育成で企業価値向上を狙う
- ✓ 経営陣も多様化推進により、ガバナンス強化と経営力向上



# 5. サステナビリティ経営 Sustainable Management

## 統合報告書

統合報告書「マルマエレポート」を2023年4月28日に発表

- ✓ マルマエ初の長期ビジョンを公表
- ✓ マルチステークホルダーへの企業理解を促進



- 01 Introduction
  - 01 Who we are
  - 03 長期の業績
  - 05 4つのユニークポイント
  - 07 Our Products
  - 09 Our Vision
- 11 CEO Message
  - 11 CEOメッセージ
- 17 How we create value
  - 17 価値創造プロセス
  - 19 ステークホルダー・エンゲージメント
  - 21 長期ビジョン
- 23 Strategy
  - 23 新中期経営計画
  - 25 財務戦略
  - 27 KPI
  - 29 戦略の解説／半導体分野
  - 31 戦略の解説／FPD分野・その他分野
- 33 Sustainability
  - 33 サステナビリティ
  - 35 マテリアリティ (重要課題)
  - 37 マテリアリティの解説
- 47 Corporate governance
  - 47 取締役一覧
  - 49 コーポレート・ガバナンス
  - 54 監査等委員長メッセージ
- 55 Data
  - 55 11年間の財務諸表／ESGデータ
  - 57 貸借対照表
  - 58 損益計算書
  - 59 キャッシュ・フロー計算書
  - 60 会社概要

[https://www.marumae.com/sus\\_report.html](https://www.marumae.com/sus_report.html)

私達は持続可能な経営を念頭に  
技術で社会貢献できる企業を目指します

# 注意事項

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など直接的な投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社マルマエ 管理本部管理部総務課 IR担当

[ir@marumae.com](mailto:ir@marumae.com)

TEL 0996-68-1140 FAX 0996-68-1151

# Company Profile

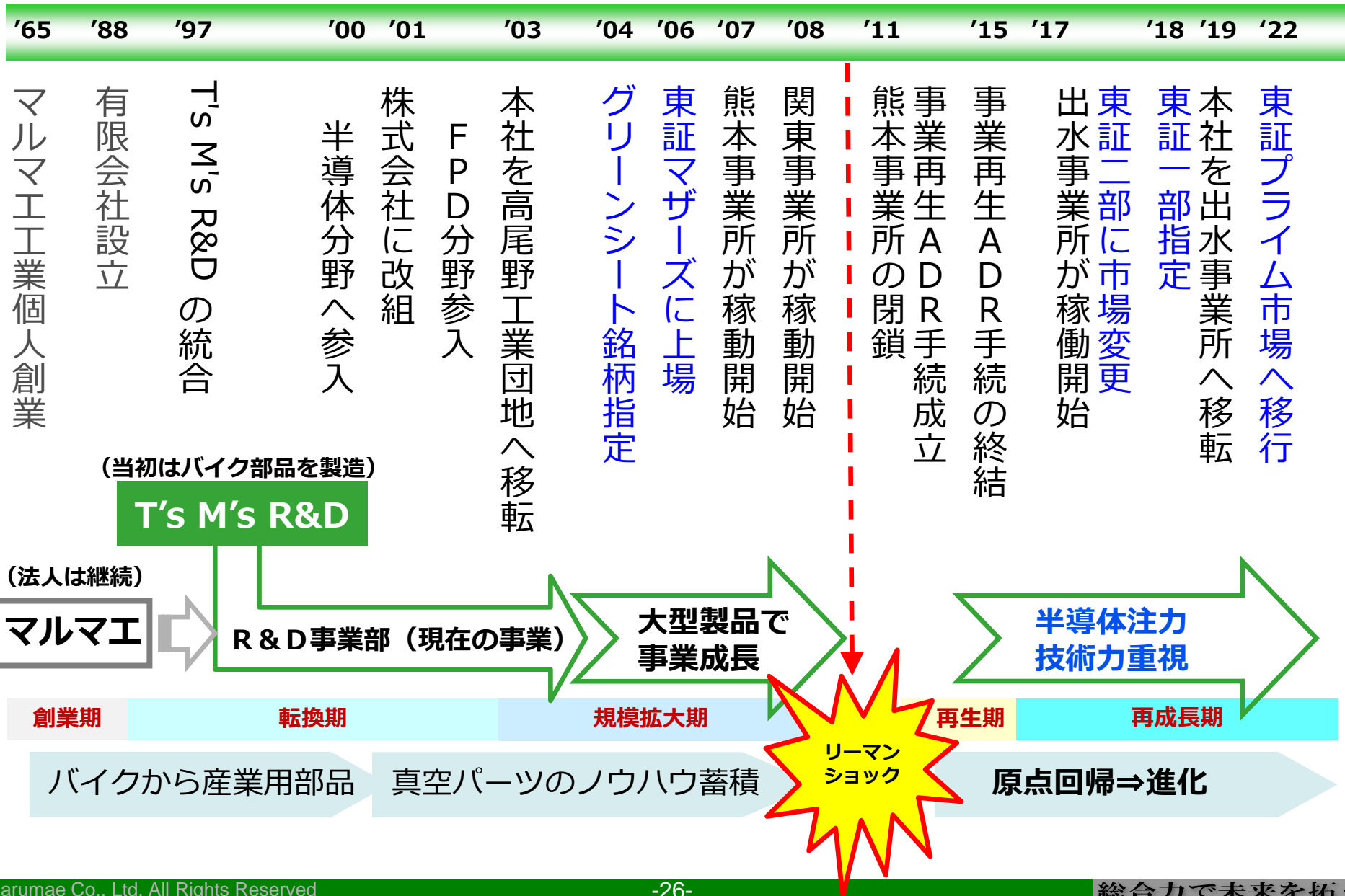
企業情報

# 参考資料（現事業の始まり）

現在の事業はレース活動から始まりました



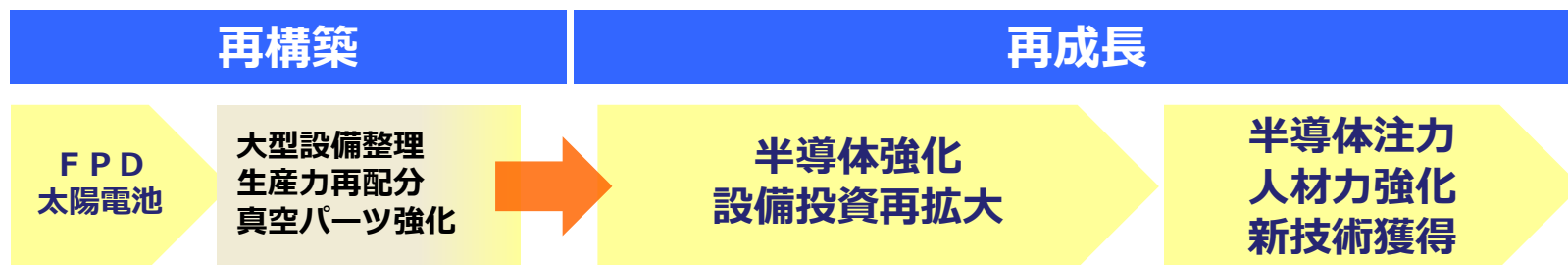
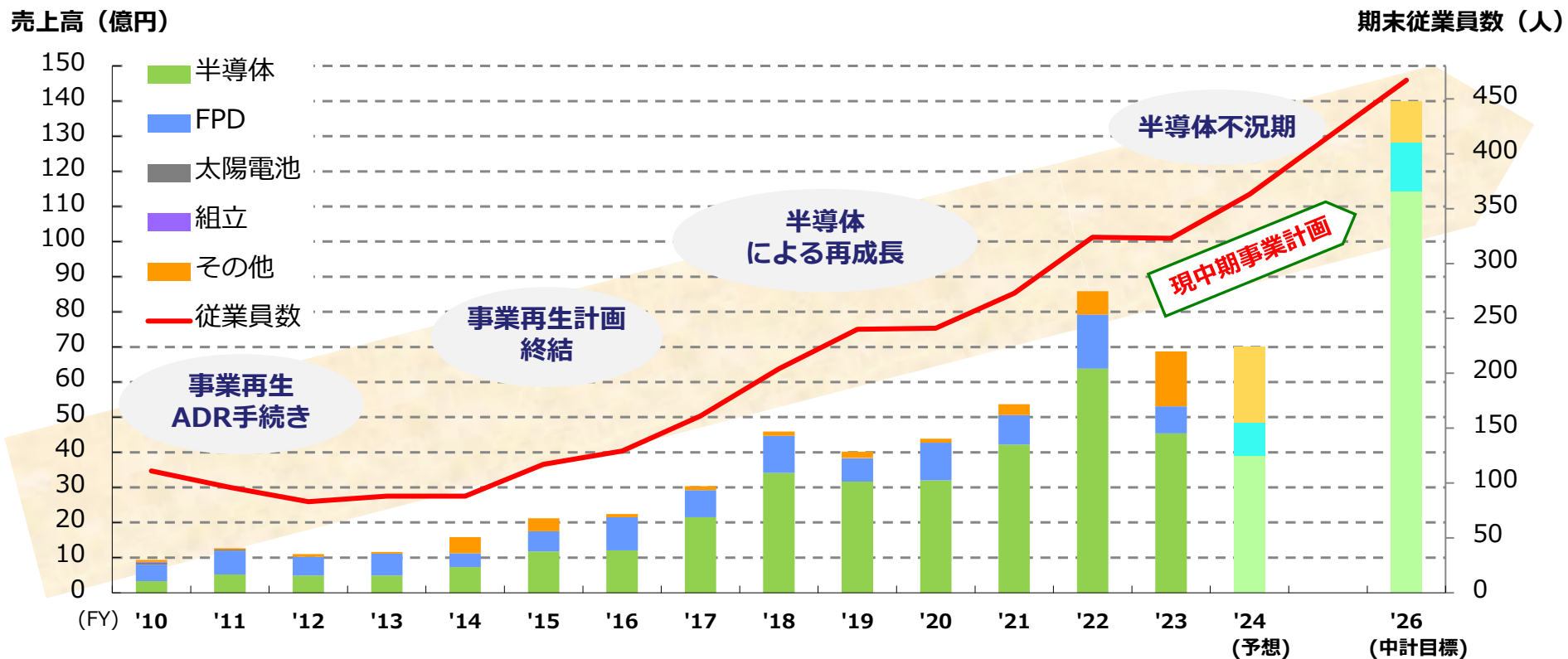
# 参考資料（沿革と事業変遷）





# 参考資料（沿革と事業変遷）

## 事業成長と成長ドライバー



# 参考資料（現在の事業内容）

## 主要工程・主要製品

当社製品は半導体・FPD製造装置の心臓部を支えています

### 主要工程（半導体）

エッチング  
CVD  
コータ/デベロッパ  
洗浄

### （FPD）

エッチング  
CVD  
コータ/デベロッパ  
スパッタ  
洗浄  
イオン注入

### 主要製品

真空チャンバー  
シャワーヘッド  
排気板  
静電チャック  
ヒーター類  
上部電極  
ターゲット  
搬送系パーツ類  
各種真空パーツ類

※画像はイメージです

# 参考資料（会社概要）

会社名	株式会社マルマエ（Marumae Co., Ltd.）
設立	1988年10月
資本金	12億4,115万円（2023年8月31日現在）
役員	代表取締役社長 前田 俊一 取締役 海崎 功太 取締役（監査等委員）外西 啓治 取締役 安藤 博音 取締役（監査等委員）桃木野 聡 取締役 門田 晶子 取締役（監査等委員）山本 隆章 取締役 世耕 久美子 取締役（監査等委員）宮川 博次
従業員数	323名 うち 臨時雇用者等 140名（2023年8月31日現在） 他 派遣社員32名
所在地	出水事業所 〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地 高尾野事業所 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精密機械、精密機器の設計、製造、加工</li> <li>・精密機械部品の設計及び製作</li> <li>・産業及び医療機械器具の設計、製造、販売</li> <li>・ソフトウェアの開発、販売 ・製缶工事 ・配管工事</li> <li>・運送業務 ・不動産の賃貸</li> </ul>
経営理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術は究極を目指し</li> <li>・競争と協調を尊び</li> <li>・技術注力企業として社会に貢献する</li> </ul> <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>

発行済株式総数	13,053,000株	
単元株式数	100株	
株主総数	11,914名	
大株主 （普通株式）	前田 俊一	4,829,117株
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	806,600株
	前田 美佐子	504,000株
	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	202,500株
	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY FOR STATE STREET BANK INTERNATIONAL GMBH, LUXEMBOURG BRANCH ON BEHALF OF ITS CLIENTS: CLIENT OMNI OM25	197,161株
	野村證券株式会社	182,758株
	前田 良子	180,000株
	五十嵐 光栄	169,000株
	NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	142,700株
	マルマエ共栄会	128,600株
（注）自己株式が412,494株あります。 （2023年8月31日現在）		